

地域の教育力の有効活用推進事業資料

# 学校支援センターの手引き



平成18年3月

群馬県教育委員会

## はじめに

群馬県教育委員会では、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの健全育成に取り組めるようにするために、地域の教育力の有効活用を推進し、保護者や地域の方々にボランティアとして学校教育の諸活動に協力していただく拠点となる「学校支援センター」の設置をお願いしてきました。

平成17年度は、学校支援センターの運営推進を図るために、モデル地区として県内11地区を指定し嘱託員を配置するとともに、学校支援センター運営やコーディネーター養成等に係る研修会を開催してきました。また、ボランティアの方々が安心して活動できるように、県としてボランティア活動保険へ加入しました。

現在、学校支援センターは、各市町村教育委員会及び全小・中・養護学校のご協力をいただき、各学校において設置・運営されており、ボランティアの方々にご協力いただくことの意義が、学校・家庭・地域で認識されてきています。また、一方では、学校支援センターを運営していく上で、ボランティアの募集や活用の在り方等の課題も指摘されています。

そこで、本資料は、学校支援センターの目的や機能等について「Q&A」形式で示すとともに、平成17年度のモデル地区の学校の実践をまとめたものです。各学校において、学校や地域の特性を生かして、学校支援センターの運営推進を更に図るために、本資料が、各市町村教育委員会や各学校で活用され、真に機能する学校支援センターの運営に役立てていただければ幸いです。

おわりに、本資料の作成並びにこれまでの学校支援センターの運営推進にご尽力いただいている関係各位に感謝申し上げますとともに、今後ともご協力いただけるようお願い申し上げます。

平成18年3月

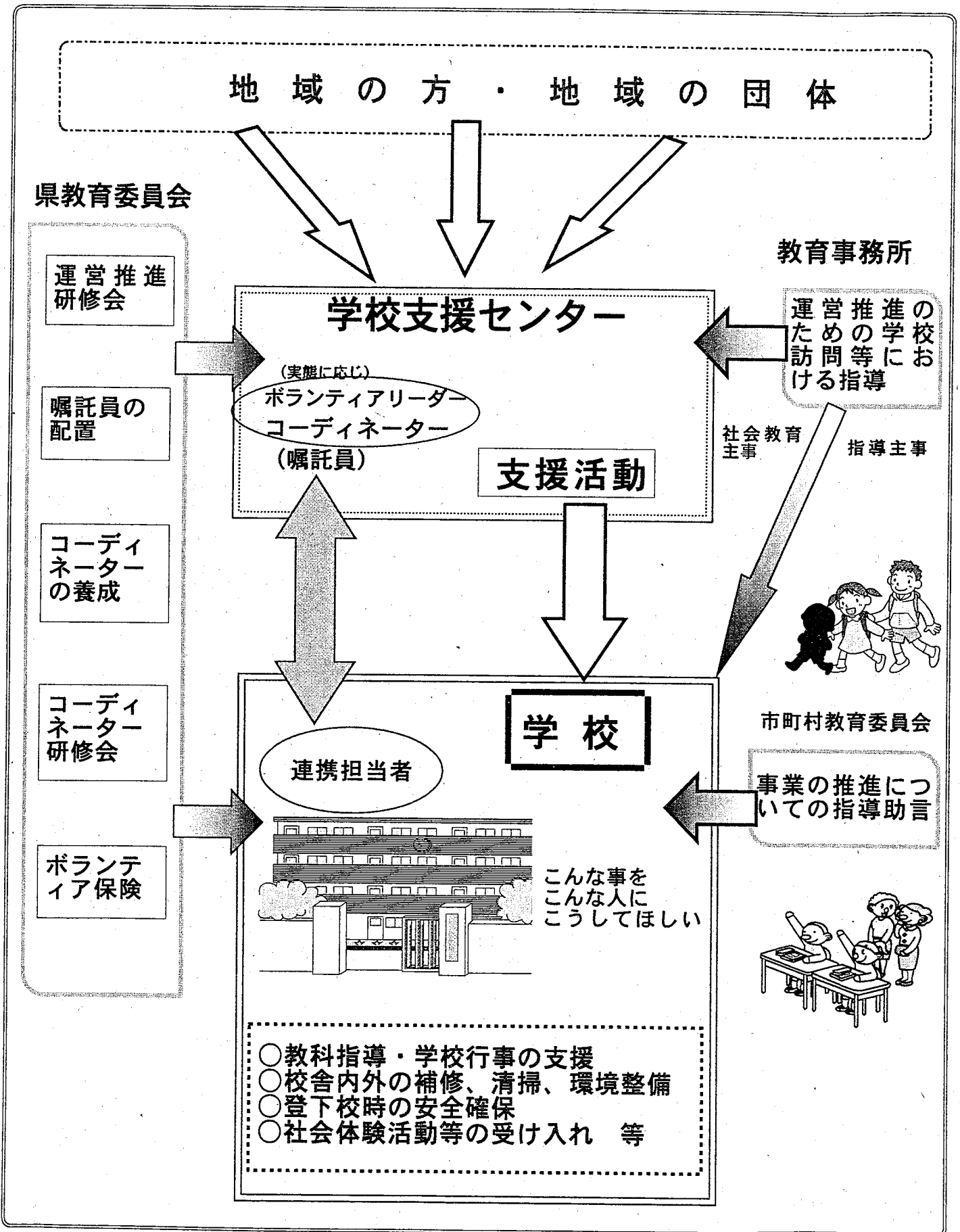
群馬県教育委員会事務局

学校人事課長 唐 澤 正 明

# 目 次

1	学校支援センターイメージ図 .....	1
2	スクールサポートボランティアリーフレット .....	2
3	学校支援センター推進のためのQ&A .....	4
4	平成17年度モデル校の取組（概要編） .....	16
	・ 前橋市立下川淵小学校	
	・ 前橋市立大胡東小学校	
	・ 伊香保町（渋川市）立伊香保小学校	
	・ 高崎市立大類小学校	
	・ 藤岡市立日野小学校	
	・ 群馬町（高崎市）立堤ヶ岡小学校	
	・ 長野原町立応桑小学校	
	・ 月夜野町（みなかみ町）立桃野小学校	
	・ 桐生市立昭和小学校	
	・ 太田市立旭小学校	
	・ 館林市立第八小学校	
	・ 伊香保町（渋川市）立伊香保中学校	
	・ 高崎市立大類中学校	
	・ 平成16・17年度モデル校一覧	
5	平成17年度モデル校の取組（資料編） .....	30
	・ 募集に係わる資料	
	・ 実践記録資料	
	・ ボランティア通信	

# 学校支援センターイメージ図



# スクールサポートボランティアに参加しませんか？

子どもたちのために、あなたの知識や技能、経験、時間をお貸してください。

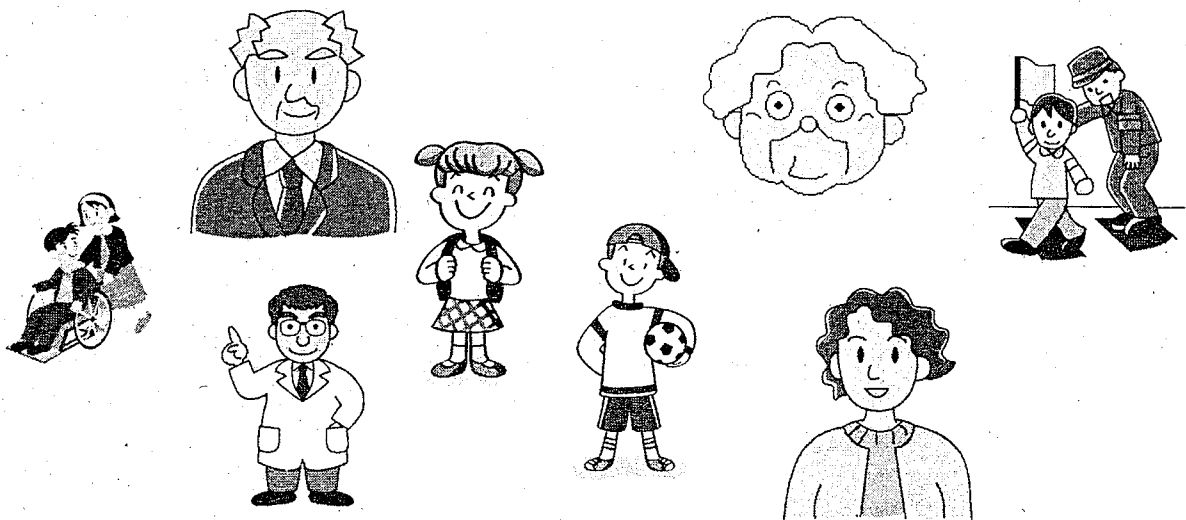
小学校や中学校、養護学校では、確かな学力の向上、豊かな人間性の育成、健康増進と体力向上など、子どもたちに「生きる力」を育むため、さまざまな学びの機会を提供しようと取り組んでいます。

また、教職員も日々学習の充実や指導力の向上に努めています。

しかし、現代の社会状況は、多様化・複雑化しているため、保護者や地域の方々など、多くの方々が学校や子どもたちに関わっていく「教育」が求められています。

特に、地域の方々が学校や子どもたちに関わっていただき、温かく見守っていただくことは、子どもたちの健全な発達を促し、より良い地域社会を作っていくことにつながります。

ボランティアの皆さんのご協力により、地域の教育力を生かして、学校教育の一層の充実を図っていきたいと考えています。



## スクールサポートボランティアってなあに？



保護者や地域の方々の持っている知識や技能、経験、時間など、地域の教育力を生かして、学校の教育活動を支援していただくというものです。ボランティアとして、自発的に子どもたちの役に立ちたいとお考えの方に参加していただきたいと思います。



## 参加したいけど、毎日は無理だなあ・・・

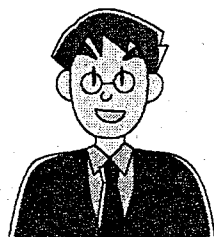
スクールサポートボランティアはみなさんができる時に、無理なく参加していただくことを基本に考えています。無理をすると長続きしません。1週間に1日だけ、朝の1時間だけ、そんなボランティアも歓迎しています。忙しくて時間がそれほど取れないというみなさんも是非参加して下さい。

## 資格もないし、特技もないけど参加してみたい!

スクールサポートボランティアには、資格はいりません。みなさんができることをできる範囲でご協力をいただいています。もちろん、教員免許などの資格のある方や特別な技能、経験などを持っている方は、それらを生かして学習のサポートなどをしていただきますが、特別な資格がなくとも、ご協力いただけることはたくさんあります。その具体的な例として、次のような活動がありますが、これらはあくまでも一例です。そのほかにも、さまざまな活動がありますので、熱意のある方は是非ご協力下さい。

### 具体的な支援内容（例）

- ・あいさつ運動のため、校門であいさつの声かけをする。
- ・図書室の本の整理を手伝ったり、自分の好きな本の紹介や読み聞かせをする。
- ・放課後に、宿題相談所を開設し、国語や算数などの学習や宿題の相談にのる。
- ・算数の計算練習問題の答え合わせをする。
- ・理科の実験や観察でグループごとに付き添って安全を確認する。
- ・野菜作りや花作りのコツを教えたり、育てる手伝いをしたりする。
- ・ザリガニやスズムシ、うさぎなどの飼育のし方を教える。
- ・お手玉、けん玉、竹馬など昔の遊びのお手本を見せる。
- ・郷土の歴史や地域の伝統的な行事などの話をする。
- ・絵を描いたり工作を作ったりするときの手伝いをする。
- ・ソフトボールやバスケットボールなど球技のお手本を見せたり、審判をしたりする。
- ・外国籍の子どもに日本語を教える。
- ・英会話に親しむため、一緒にゲームをするなど、子どもたちの学習に参加する。
- ・校外活動等の引率の手伝いをする。
- ・登下校時の子ども達の様子を見守るために、地域のパトロールなどをする。
- ・放課後に、遊び塾を開いて、一緒に遊ぶなど、子どもの相手をする。



## 申し込めばすぐに学校へ行けるの？



ボランティアとして協力していただく内容は、それぞれの学校の実情によって異なってきます。協力していただける方は、お近くの学校や市町村教育委員会に連絡してください。その際、ご自分のしたいボランティアの内容等について申し出ていただくとともに、学校がボランティアとして協力してほしいと考えている内容や活動を確認してください。希望した内容や活動等がすぐに見つからない場合もありますが、学校が必要としている内容や活動等で協力していただける内容がありましたら、積極的にご協力をお願いします。

学校支援センター  
推進のためのQ&A

# 学校支援センター推進のためのQ&A

## 1 学校支援センターの目的

Q1：学校支援センターの目的を教えてください。

A1：従来から各学校では、地域や学校の実情に合わせて、ボランティアの方々の協力を得て教育活動が行われています。県教育委員会では、教育活動をさらに充実させるため、各学校が「学校支援センター」を導入することにより、より一層計画的・組織的にボランティアを活用することを推進しています。

Q2：学校支援センターの目的は理解できますが、ボランティアとの連絡調整など、教職員の負担が増えるといった弊害はありませんか。

A2：学校支援センターは、地域の教育力を活用して学校の教育活動を充実させることが目的です。学校支援センターの導入により、教育活動に支障が生じては本末転倒です。

教職員の負担が増えないようにするため、事前準備やボランティアとの事前打ち合わせが短時間で済む活動からボランティアを活用するのも一つの方法です。これまで教職員が行っていた学校安全のパトロールや学校環境整備にボランティアを活用するなど、無理のない範囲で取り組んでください。ボランティアとの事前打ち合わせの負担を軽減するためには、あらかじめ依頼事項を文書や電子メールで知らせるなどのちょっとした配慮も欠かせません。

また、学校支援センターは、各学校で取組を積み重ねることにより、人脈が作られ、ボランティアとの連絡調整などのノウハウが蓄積され、効率的に運営できるようになります。

県教育委員会では、各学校へ情報提供したり、研修会を開催したりするなど、学校支援センターの推進を全面的に支援していきます。

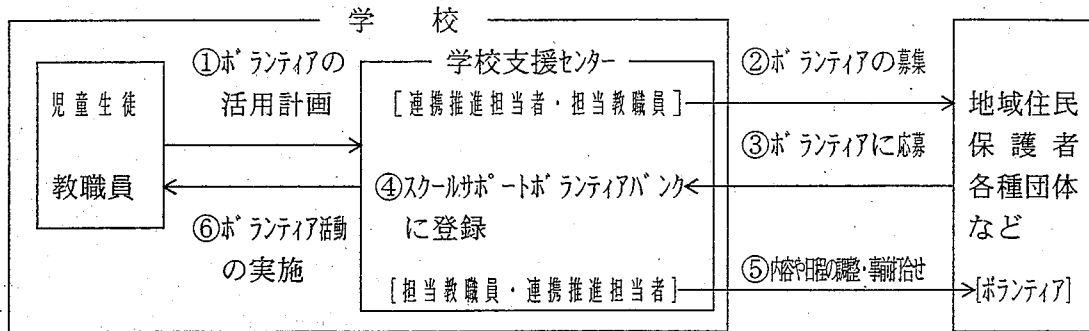
## 2 学校支援センターの機能

Q3：学校支援センターの運営形態には、どのようなものがありますか。

A3：主な学校支援センターの運営形態は、次のとおりです。必ずしも、発展型である必要はありません。なお、以下に示す形態は、あくまで例示ですので、地域や学校の実情に応じた学校支援センターの形態を工夫してください。

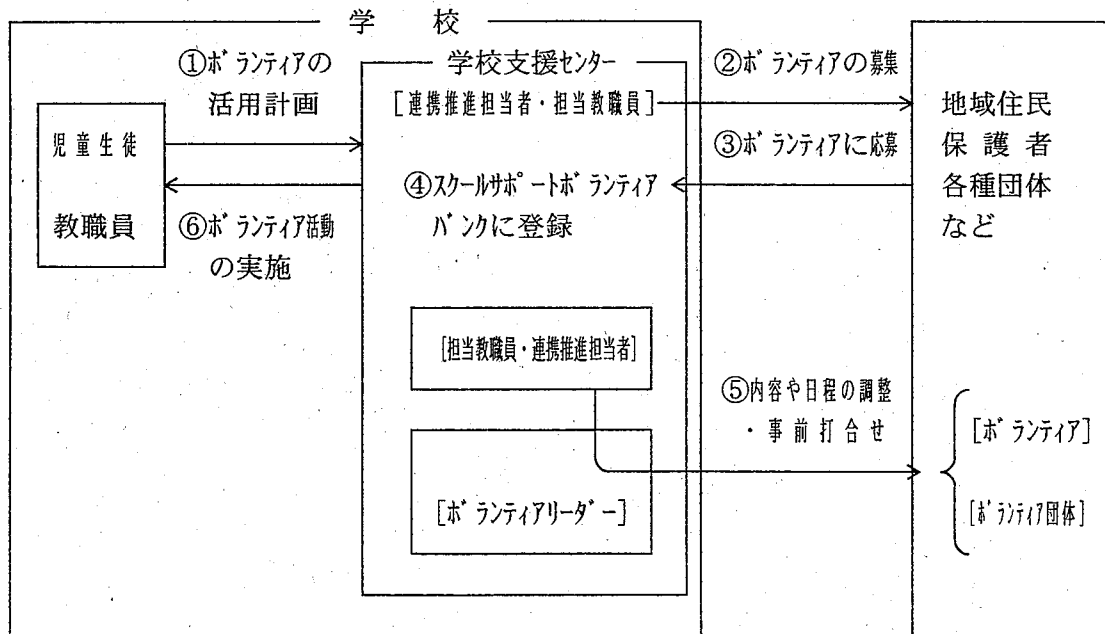


【基本型】



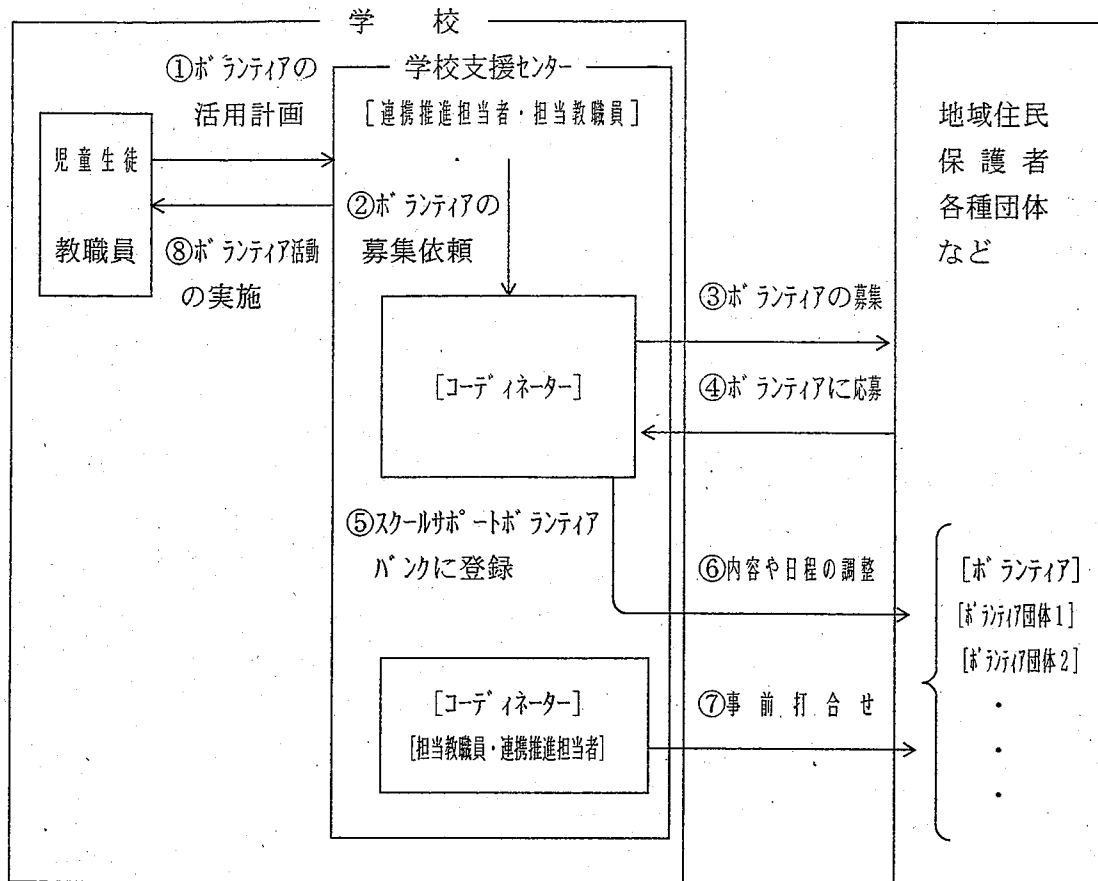
- 【ポイント】 1 活動内容や活動日時を明示して募集することにより、「⑤内容や日程の調整」を省いたり、事前打合を簡略化することが可能になります。
- 2 「②ボランティアの募集」は、定期的に行うほか、必要に応じて随時行う方法も有効です。

【発展型1（ボランティアリーダー設置型）】



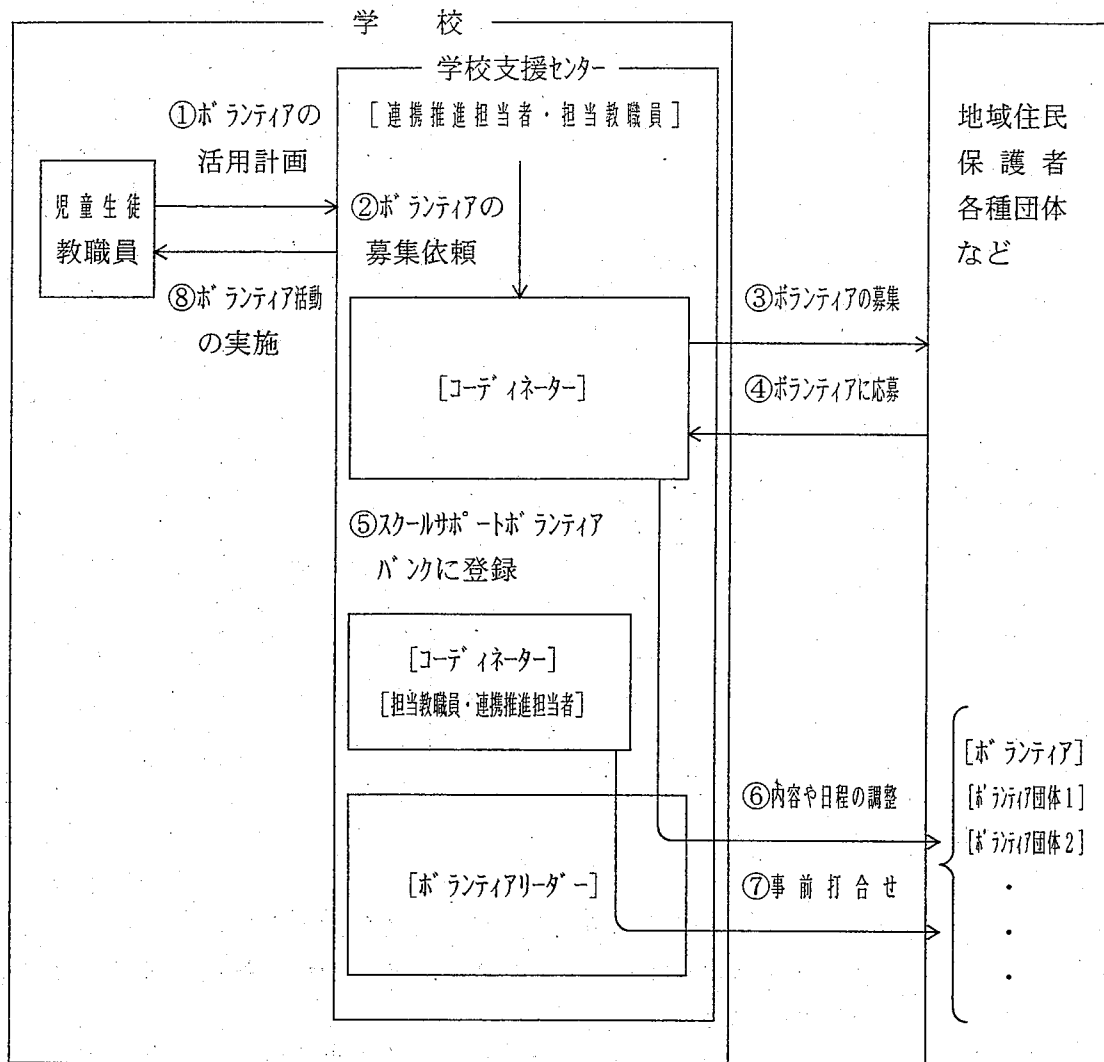
- 【ポイント】 1 活動内容や活動日時を明示して募集することにより、「⑤内容や日程の調整」を省いたり、事前打合を簡略化することが可能になります。
- 2 「②ボランティアの募集」は、定期的に行うほか、必要に応じて随時行う方法も有効です。
- 3 ボランティアリーダーは、ボランティア団体等の代表で、ボランティアの取りまとめ役となって活動内容や日程調整等を担います。これにより、学校の負担が軽減されます。

【発展型2（コーディネーター設置型）】



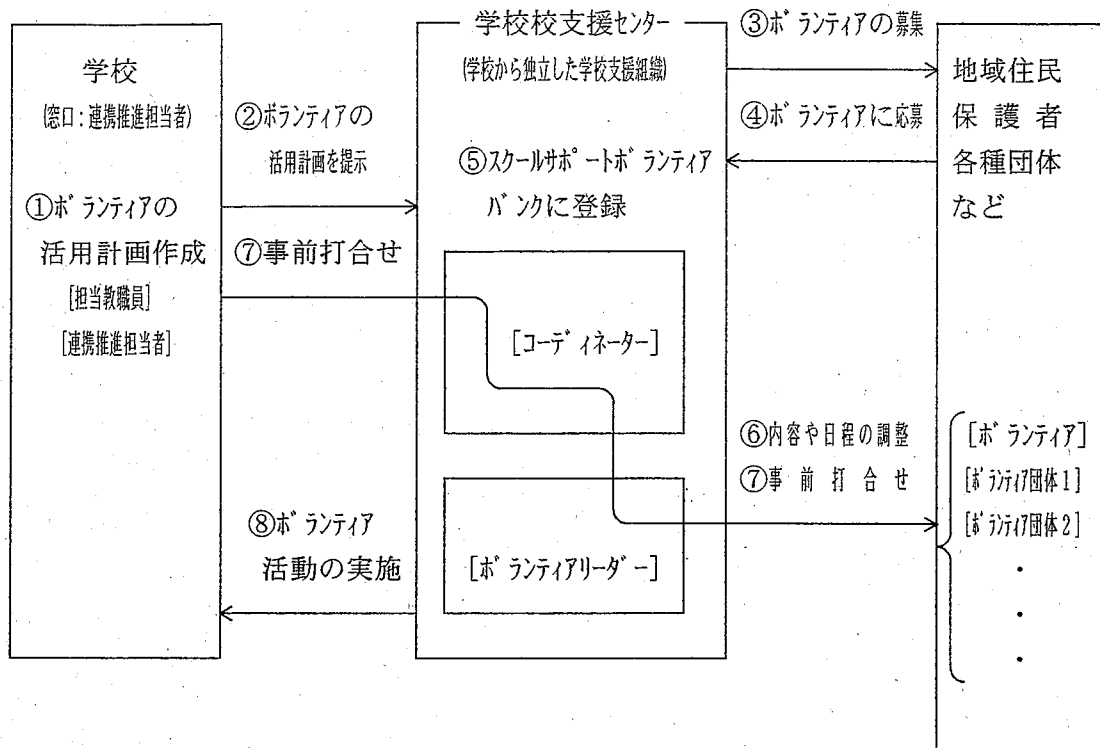
- 【ポイント】
- 1 活動内容や活動日時を明示して募集することにより、「⑥内容や日程の調整」を省いたり、事前打合せを簡略化することが可能になります。
  - 2 「③ボランティアの募集」は、定期的に行うほか、必要に応じて随時行うことも有効です。
  - 3 コーディネーターは、学校と地域との橋渡し役となり、ボランティアの募集等を担います。これにより、学校の負担が軽減されます。
  - 4 ボランティアやボランティア団体を代表するボランティアリーダーが、コーディネーターを兼ねることもあります。

【発展型3（ボランティアリーダー・コーディネーター設置型）】



- 【ポイント】
- 1 活動内容や活動日時を明示して募集することにより、「⑥内容や日程の調整」を省いたり、事前打合せを簡略化することが可能になります。
  - 2 「③ボランティアの募集」は、定期的に行うほか、必要に応じて随時行う方法も有効です。
  - 3 ボランティアリーダーは、ボランティア団体等の代表で、ボランティアの取りまとめ役となって活動内容や日程調整等を担います。これにより、学校の負担が軽減されます。
  - 4 コーディネーターは、学校と地域との橋渡し役となり、ボランティアの募集等を担います。これにより、学校の負担が軽減されます。
  - 5 ボランティアリーダーとコーディネーターとを兼ねることもあります。

【発展型4】



- [ポイント] 1 活動内容や活動日時を明示して募集することにより、「⑥内容や日程の調整」を省いたり、事前打合せを簡略化することが可能になります。
- 2 「③ボランティアの募集」は、定期的に行うほか、必要に応じて随時行う方法も有効です。
- 3 ボランティアリーダーは、ボランティア団体等の代表で、ボランティアの取りまとめ役となって活動内容や日程調整等を担います。これにより、学校の負担が軽減されます。
- 4 コーディネーターは、学校と地域との橋渡し役となり、ボランティアの募集等を担います。これにより、学校の負担が軽減されます。
- 5 学校支援センターが学校から独立しています。学校と地域社会とが協働する究極の型です。

Q4：連携推進担当者、ボランティアリーダー、コーディネーターは、それぞれの  
 ような役割を担うのですか。

A4：

(1) 連携推進担当者、ボランティアリーダー及びコーディネーターの役割分担  
 それぞれの主な役割は、次のとおりです。

役割等 区分	主な役割	例
連携推進担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの活用に当たり、ボランティアと内容や日程等を調整する調整役</li> <li>・校務分掌等に位置付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員</li> </ul>
ボランティア リーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの中で活動の中心となり連絡・調整を行う責任者</li> <li>・ボランティアの取りまとめ役となって日程調整等を担う。</li> </ul>	(ボランティア団体がある場合) <ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば、「読み聞かせグループ」であればグループの代表(会長)など</li> </ul>
		(ボランティア団体がない場合) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動を通じて他のボランティアから認められるなど人望のある人</li> </ul>
コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の要望を聞き、地域から適当なボランティアを探したり、ボランティアと内容や日程等を連絡調整するなど、学校と地域の橋渡し役</li> <li>・複数のボランティア団体の間の調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会の取りまとめ役など地域から大きな信頼を得ている人</li> <li>・公募した学校もある。</li> <li>・ボランティアリーダーが兼ねることもある。</li> </ul>

(2) 連携推進担当者について

ボランティアの種類や回数が多くなれば多くなるほど、連携推進担当者の業務が増加し、連携推進担当者一人では対応しきれなくなります。教職員全員で協力してボランティアの活用に取り組む必要があります。ボランティアとの連絡調整などは、連携推進担当者だけが行うのではなく、各学校の実情に応じて教職員全員で分担するよう体制を整えてください。

なお、学校支援センターの広報やボランティア活動記録の作成などは、ボランティアに依頼する方法もあります。ホームページや広報紙づくり、効果的な広報の方法についてノウハウや知識を持つ人を募集してはどうでしょうか。

また、ボランティアの募集についても、信頼できるボランティアに紹介してもらうなどの工夫をしている学校があります。

(3) ボランティアリーダー、コーディネーターについて

学校の負担を軽減するためにも、ボランティアの活用実績を積み重ねながら、地域とのネットワークを広げ、ボランティアリーダー、コーディネーターの適任者を発掘したり、養成したりすることが望まれます。

なお、ボランティアリーダー、コーディネーターの役割は、上述の内容に限定されるものではありません。地域や学校の実情に合わせて、ボランティアリーダー、コーディネーターと相談し、役割分担してください。

(4) 学校支援センターの主な業務内容と担当者について

学校支援センターの主な業務内容と担当者は、例示すると次のとおりとなります。業務内容と担当者の役割分担については、地域や学校の実情に合わせて決めてください。

【学校支援センターの主な業務内容と担当者（例）】

業務内容(例)	運営形態・担当者(例)	担当者(例)				
		基本形	発展型1	発展型2	発展型3	発展型4
(1) ボランティア活用事項の洗い出し		教職員全員	同左	同左	同左	同左
ボランティア活用計画の作成		連携推進担当者	同左	同左	同左	同左
(2) 学校支援センターの広報		連携推進担当者 担当教職員 ボランティア	同左	同左	同左	学校支援組織 (学校から独立)
(3) ボランティアの募集 (ボランティアからの紹介も併用)		連携推進担当者 担当教職員	同左	コーディネーター	同左	学校支援組織
(4) 地域のボランティアグループ・ 関係団体との連携		担当教職員 連携推進担当者	同左	担当教職員 連携推進担当者 コーディネーター	同左	学校支援組織
(5) 活動内容や日程調整		担当教職員 連携推進担当者	担当教職員 連携推進担当者 コーディネーター	コーディネーター	コーディネーター ボランティアリーダー	学校支援組織
(6) ボランティアとの事前打合せ		担当教職員 連携推進担当者	担当教職員 連携推進担当者 コーディネーター	担当教職員 連携推進担当者 コーディネーター	担当教職員 連携推進担当者 コーディネーター ボランティアリーダー	担当教職員 連携推進担当者 学校支援組織
(7) ボランティアの受入れ準備・活動当日の対応		担当教職員 連携推進担当者	同左	同左	同左	同左
(8) ボランティアリーダー・ コーディネーターの発掘・育成		連携推進担当者・担当教職員 市町村教育委員会・県教育委員会	同左	同左	同左	学校支援組織
(9) ボランティア活動記録の作成等		担当教職員 連携推進担当者 ボランティア	同左	同左	同左	担当教職員 連携推進担当者 ボランティア 学校支援組織

Q 5 : 学校支援センターを設置するための空き教室等がない場合、どうしたらよいですか。

A 5 : 空き教室等がなく、常設の学校支援センターが設置できない場合、必要に応じてボランティアの活動日に会議室を使うなど各学校で臨機応変に対応してください。学校支援センターを場所として設置することが目的ではありません。ボランティアを組織的・計画的に活用し、教育活動を充実させるためにどのような工夫ができるかという視点で取り組んでください。

なお、学校支援センターの設置や運営については、一定の条件のもと、県総務局市町村課が所管する「地域コミュニティ支援事業」を活用することも可能です。

(参考)

「地域の教育力の有効活用の推進について(通知)(平成16年6月22日付け学人第1237-1号各市町村教育委員会教育長あて群馬県教育委員会教育長通知(以下「地域の教育力通知」という。))」の記2では「空き教室等を活用した『学校支援センター』を設置して、学校と地域とが連携して教育を進めるための拠点づくりを行うこと」とされています。

Q 6 : 学校支援センターには、誰か常駐する必要はありますか。

A 6 : 必ずしも常駐する必要はありません。学校支援センターは、学校支援センターを運営するための会議、ボランティアの集合場所や休息場所など必要に応じて使用できれば十分です。

Q 7 : 学校支援センターには、「学校支援センター」という名称を用いなければなりませんか。

A 7 : 「学校支援センター」という名称を必ず用いなければならないということはありません。「〇〇っ子支援センター」、「〇〇学校支援隊」など各学校で、工夫をこらして命名してください。

### 3 ボランティアの募集

Q 8 : スクールサポートボランティアバンクとは、どのようなものですか。

A 8 : 地域の教育力通知では、「『スクールサポートボランティアバンク』に登録してもらうよう、(中略)地域や家庭に対し、積極的に働きかけること」とあります。スクールサポートボランティアバンクは、学校支援センターを運営していく上で必要となる人材バンクです。スクールサポートボランティアバンクを設置することにより、ボランティアの活用を効率的に進めることができます。

なお、スクールサポートボランティアバンクは、ボランティアを活用するための一つの手段であり、概ね2つのタイプに分けられます。



【スクールサポートボランティアバンクの形態】

概要 形態	募集方法		備考
	募集時期	募集内容	
一時登録型	ボランティア活動の都度、必要に応じて募集	活動内容・期間を明示する。	<p>【長所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要ときに必要なボランティアを確保できる。</li> <li>・次回も同じ人にボランティアを依頼することにより、「常時登録」と同様の効果が得られる。</li> </ul> <p>【短所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急にボランティアが必要になったときに対応が困難である。</li> </ul>
常時登録型	定期的に募集 (年1回など)	活動内容・期間を明示する。	<p>【長所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要ときに、即座に活用することができる。</li> </ul> <p>【短所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動しない登録者が生じるおそれ大きい。</li> </ul>
	定期的に募集 (年1回など)	活動内容・期間を明示しない。	<p>【長所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人材を広く把握することができる。</li> </ul> <p>【短所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必ずしも学校のニーズに応じた募集でないため、活動しない登録者が生じるおそれが非常に大きい。</li> <li>・ボランティア活用計画にない内容の応募がある。</li> <li>・名簿の整理に時間を要する。</li> </ul>

活動内容によっては、「活動内容・期間を限定しないボランティアを常時登録するタイプ」が有効であるケースもあり、活動内容を踏まえた上で、登録方法を使い分けることも必要です。

なお、各学校で従来から依頼しているボランティアの方がいる場合は、その情報をスクールサポートボランティアバンクとして活用することも可能です。

Q9：これまで学校支援隊などによりボランティアの協力を得てきましたが、学校支援センターを設置するに当たり、新たにボランティアを募集する必要がありますか。

A 9 : 従来から地域の方々の協力を得て、教育活動を充実させている場合には、その取組を継続発展させてください。学校支援隊などこれまでのボランティアの方々とのつながりを大切に、引き続き学校に対する支援をお願いしてください。

Q 10 : 地域でボランティアの募集をしましたが、専門性が必要とされる内容のため、応募者がいませんでした。何かよい方法はありますか。

A 10 : まず、近隣の学校や市町村教育委員会、教育事務所などに情報提供を求めてみてはいかがでしょうか。さらに県や一部の市町村では、出前講座とって、県や市町村の職員が業務に関する事項等についてボランティアで講師を務める制度があります。詳しくは、県や各市町村のホームページ等をご覧ください。

Q 11 : 地域の方にチラシを配布し、ボランティアを募集しましたが、応募者がいませんでした。効果的な募集方法はありますか。

A 11 : それぞれの地域の特性があるため、一律に効果的な募集方法を示すことはできませんが、次のような方法を取り入れている学校もあります。

- ・学校だよりで募集する。
- ・学校評議委員会で適任者の紹介を依頼する。
- ・ホームページで募集する。
- ・PTAの会議、保護者との懇談会、新入学説明会等の場において募集する。
- ・自治会などの地域の会議に出席し、協力を依頼する。
- ・市町村の広報紙を活用する。
- ・公民館などの社会教育施設に広報を依頼する。

Q 12 : スクールサポートボランティアバンクに登録している人から、活動の要請がないとの苦情を受けました。どのように対応したらよいでしょうか。

A 12 : 学校支援センターを運営する上で大切なことは、学校が必要とする時期に必要なとする活動内容のボランティアを募集することです。スクールサポートボランティアバンクに登録したものの活動の要請をしていないボランティアがいる場合は、電話、文書等により今後の予定等を示すなど、相手方の意を損なわないようにしましょう。

このような事態を防ぐには、学校が必要とする活動内容や活動日時を明示して、計画的にボランティアを募集することが肝要です。

#### 4 ボランティアの活用

Q 13：ボランティアの活用は、授業に限られますか。

A 13：ボランティアの活用は、授業に限られるものではありません。学校安全、読み聞かせ、学校環境整備など、それぞれの学校で教育活動を充実させるため積極的にボランティアを活用してください。

Q 14：PTA活動の一環として、学校安全パトロールを行っています。学校支援センターとPTA活動とを区別する必要がありますか。

A 14：学校支援センターの活動とPTAによるボランティア活動とを区別する必要はありません。教育活動を充実させるためにも、両者の連携が大切です。

Q 15：ボランティア活動の記録を作成する必要はありますか。

A 15：ボランティア活動に問題はなかったか、教育活動を充実させる効果があったか等を検証し、次回以降の活動に活かすためにもボランティア活動の記録を作成しましょう。連携推進担当者が代わったときの引継資料ともなります。

また、ボランティア活動記録をもとにホームページや学校だよりでその活動を周知したり、学校の取組を地域に紹介したりすることにより、学校に対する理解を深める効果も期待されます。

#### 5 危機管理対策

Q 16：来校したボランティアの方と不審者との区別がつかないことがありました。どのように対応したらよいですか。

A 16：ボランティアの活動日時、人数、氏名等を事前に教職員全員に周知してください。また、ボランティアの方々に事前に名札を配付し、校内では必ず着用するようにお願いしてください。

Q 17：ボランティア活動中の事故に備えた対策は何かありますか。

A 17：県教育委員会では、ボランティアの方が安心して活動できるよう平成17年度からボランティア保険の保険料を負担しています。ボランティア保険への加入は随時受け付けていますので、活動される方については、漏れなく加入手続きをしてください。詳しくは、各市町村教育委員会の担当課へお問い合わせください。

平成 1 7 年 度  
モ デ ル 校 の 取 組  
( 概 要 編 )

【学校名：前橋市立下川淵小学校】	
[活用事例]	[効果]
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 親子行事（1年生） 講師を招き、「おやこえあるびくす」で保護者と一緒に体を動かす。</li> <li>2 生活科（2年生） 老人クラブの方の指導のもと、さつまいもの苗植えと収穫。さつまいものつるのリースづくり。</li> <li>3 親子行事 県埋蔵文化財調査事業団の方を招き、勾玉づくり。</li> <li>4 稲作り体験（5年生） 田おこし、田植え、八反転がし、かかしづくり、稲刈り、脱穀、粳すり、千歯こき体験の補助。</li> <li>5 英語指導（3・4年生） 放課後、ALTによるカードとCDを使った英語指導。</li> <li>6 社会科（4年生） 「昔の道具を調べよう」の学習で昔の農具の使い方を指導。</li> <li>7 親子手話教室（4年生） 4年生とその保護者を対象に手話の指導。</li> <li>8 家庭科 ミシン実習の支援。</li> <li>9 生活科（2年生） 「町探検」の学習で、子どもたちがグループで町探検をする際の付き添い。</li> <li>10 総合的な学習の時間（3年生） 「下川淵PR大作戦」の学習で、子どもたちがグループで町の名所を調べる際の付き添い。</li> <li>11 社会科（3年生） キュウリづくりにおける栽培や出荷の工夫について指導。</li> <li>12 国語（3・4年生） 戦争の体験を指導。</li> <li>13 パソコン教室（5・6年生） 放課後、キーボード練習を主とした指導。</li> <li>14 ホームページの作成・更新 スクールサポートボランティアの活動のページの作成及び更新。</li> </ol>	<p>○ 事業の推進によって明らかになったこと</p> <p>各学年において、生活科や社会科、総合的な学習の時間の導入段階や課題解決に向けての体験活動の機会を増やすことで、生活科や総合的な学習の時間に対し、地域や保護者の理解を深めてもらうとともに、学校と地域や家庭との協力体制をより強いものにできた。</p> <p>また、理解と協力を得るための広報活動においても、地域連携便り「ほっとえのき」を発行し、連携活動について、保護者や地域の方に理解してもらうことができた。</p> <p>さらに、活動内容をホームページに公開し、各学年から学校行事までのスクールサポートボランティアの取組を発信し、その充実を図った。それにより、本活動の趣旨を理解し、ボランティアリーダーとして協力していただける人材の育成に努めた。</p> <p>教師の意図する授業とボランティアリーダーの授業内容の把握の違いや、それに伴うボランティアの方の授業時間の使い方の調整が難しい。特に事前の打合せが十分にできていないと、内容がそれてしまい学習のねらいが達成できないこともある。また、打合せの時間の確保が非常に難しい。</p>

【学校名：前橋市立大胡東小学校】													
[活用事例]	[効果]												
<p>1 放課後活動「わくわく遊び場」（文部科学省委託事業「地域子ども教室推進事業」） 「わくわく遊び場実行委員会」と連携して、毎週月曜日の放課後と夏季休業中の約10日間実施。主な活動内容は、昔遊び、音楽、絵画、軽スポーツの指導・補助。</p> <p>2 放課後補充学習「寺子屋」（前橋市教委放課後学習支援事業） 1学期は毎週火・木・金曜日、2～3学期は毎週火・木曜日の14:45～16:00に実施。宿題や学習プリントでの学習支援。</p> <p>3 読み聞かせ 毎週木曜日の朝学習の時間に全学級で実施。</p> <p>4 授業支援（各学年における主な授業支援）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">1年</td> <td>旅行遠足支援 体力テストでの支援 運動会用具作成支援</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2年</td> <td>旅行遠足支援 体力テストでの支援 運動会用具作成支援 算数・国語等でのTT指導支援</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3年</td> <td>町探検の引率支援 プライドワークの支援 パソコン学習の支援 算数・国語等でTT指導支援 運動会練習支援 書き初めの支援</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4年</td> <td>算数・国語等でTT指導支援 音楽会とその練習でのピアノ伴奏 運動会練習支援 校内図画展の絵画指導支援</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5年</td> <td>田植え・稲刈りの支援 校内図画展の絵画指導支援 収穫祭支援</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6年</td> <td>校内図画展の絵画指導支援 ミシンの学習での支援</td> </tr> </table> <p>5 その他 草花の植え替えや下校時のパトロール、交通安全看板・校歌表示板の作成補助。</p>	1年	旅行遠足支援 体力テストでの支援 運動会用具作成支援	2年	旅行遠足支援 体力テストでの支援 運動会用具作成支援 算数・国語等でのTT指導支援	3年	町探検の引率支援 プライドワークの支援 パソコン学習の支援 算数・国語等でTT指導支援 運動会練習支援 書き初めの支援	4年	算数・国語等でTT指導支援 音楽会とその練習でのピアノ伴奏 運動会練習支援 校内図画展の絵画指導支援	5年	田植え・稲刈りの支援 校内図画展の絵画指導支援 収穫祭支援	6年	校内図画展の絵画指導支援 ミシンの学習での支援	<p>○ 事業の推進によって明らかになったこと たくさんの方々へ協力していただき、学校の教育力の質的向上、児童の安全確保等を図ることができた。 校内体制の整備、ボランティアリーダーの育成など、まだまだ道半ばである。それらの課題解決に向けて、来年度もさらに努力する必要がある。</p> <p>○ 教職員の反応 「ミシンなどを使う学習、コンピュータを操作する学習等は、支援者が多ければ多いほどきめ細かい指導が可能になった。」 「生活科や総合的な学習の時間等における校外学習は、安全が確保でき、授業を効率的に進めることができた。」 「学習支援者がいることで、つまずきのある児童への早い対応が可能になった。」など、保護者や地域人材の活用に関心を持っていただくことができた。 「児童の個人情報の保護」「打合せの時間の確保」等で、保護者や地域の人々が授業に参加してくることに消極的な教職員も存在する。地域の教育力有効活用に関する教職員の意識改革をさらに進める必要がある。</p> <p>○ 保護者の反応 「ボランティア等で学校にかかわることは、自分の子どもを集団の中で見ることができるようになり、子ども理解の上で参考になった。」 「道で行き会おうと元気にあいさつしてくれる。」 「地域の催しに参加してくれるようになった。」などの感想を聞くことができ、少しずつではあるが、学校・家庭・地域の三者が一体となって子どもを育てる雰囲気を感じられるようになった。 「共働きで学校にかかわっている時間はない。」 「学校は行きにくい。」と考えている保護者もいる。保護者・地域の方々の啓発もさらに進める必要がある。</p>
1年	旅行遠足支援 体力テストでの支援 運動会用具作成支援												
2年	旅行遠足支援 体力テストでの支援 運動会用具作成支援 算数・国語等でのTT指導支援												
3年	町探検の引率支援 プライドワークの支援 パソコン学習の支援 算数・国語等でTT指導支援 運動会練習支援 書き初めの支援												
4年	算数・国語等でTT指導支援 音楽会とその練習でのピアノ伴奏 運動会練習支援 校内図画展の絵画指導支援												
5年	田植え・稲刈りの支援 校内図画展の絵画指導支援 収穫祭支援												
6年	校内図画展の絵画指導支援 ミシンの学習での支援												

【学校名：伊香保町（渋川市）立伊香保小学校】	
[活用事例]	[効果]
<p>1 読み聞かせ 毎週木曜日の朝に実施。</p> <p>2 書写 3年生の書写の指導。</p> <p>3 お囃子指導 2年生の生活科の時間に育てた野菜の収穫祭で行うお囃子の指導。</p> <p>4 野菜づくり 6年生のじゃがいもづくり、4年生の大豆づくり、2年生のポップコーンづくり、1・2年生のさつまいもづくりの補助。</p> <p>5 米づくり 3年生と5年生の総合的な学習の時間に行う田植えから収穫、餅つきまでの補助。</p> <p>6 茶道 5～6年生の総合的な学習の時間に行うお茶の作法指導。</p> <p>7 陶芸 6年生の総合的な学習の時間に行う陶芸づくりの指導。</p> <p>8 スケート 全学年を対象に行うスケートの技術指導。</p> <p>9 授業支援 4年生社会科「郷土を開く」における町の歴史の指導。</p> <p>10 安全支援 登下校時におけるパトロール。</p>	<p>○ 事業の推進によって明らかになったこと 特に野菜づくりや米づくりなど、複数の方々が協力して作業を行う場面の人選については、町の社会福祉協議会より推薦していただいた。このことは、事業を円滑に進める上で大変よかった。</p> <p>野菜づくりや米づくりに関して、ボランティアの方々が技術指導や日常の世話（土づくり・除草など）をほとんど行ってくれるのでありがたかった。</p> <p>ボランティアの方々はとても熱心に指導や作業等に取り組んでくれている。学校側の都合などもよく聞いて計画を立ててくれる。</p> <p>保護者や地域の方々が学校支援センターに気軽に入れるように、場所や雰囲気などを考慮した方がよい。</p> <p>ボランティアリーダーをお願いする場合、人選をどうするか、誰にお願いするかなど、よく考えておく必要がある。</p> <p>○ ボランティア活用による児童の変容 専門的な知識や技能をもった方々の指導を受けることにより、子どもたちは大変意欲的に、また、興味をもって取り組むことができた。</p> <p>○ 保護者等の反応 町ぐるみで子どもを育てていこうという雰囲気があり、学校への協力体制は十分である。</p>

【学校名：高崎市立大類小学校】	
[活用事例]	[効果]
<p>1 読み聞かせ 朝読書の時間を活用して読み聞かせの実施。</p> <p>2 授業応援</p> <p>(1) 家庭科のミシンや調理の授業において、実技支援。</p> <p>(2) 授業中、昼休み、夏休みにおいて、金管や打楽器等のマーチングの指導。</p> <p>(3) 2年生の生活科の町探検において、校外学習の安全指導。</p> <p>(4) 1年生の生活科において、お手玉、ベーゴマ、けん玉、折り紙等の昔の遊びの指導・支援。</p> <p>(5) 6年生における戦争の実体験や5年生における米作りの苦労・工夫についての話。</p> <p>(6) 毎週水曜日の朝行事（ステップアップタイム）において、算数プリントの丸付け。</p> <p>(7) 4年生において、点字、手話の指導。</p> <p>3 安全支援 犬の散歩や散歩の時間を子どもの登下校時に合わせてもらったり、農作業の際に見守ったりしてもらう。また、学校内外のパトロールや長期休業前に交通安全や万引き防止の話をしていただいた。</p> <p>4 環境・施設整備</p> <p>(1) 夏休み前に学校内や地域の川付近にコスモスの種を植える場所の草むしりに協力。</p> <p>(2) 1年生が飼育しているウサギの休日飼育や花壇の花等の水やり。</p> <p>5 特別支援 体操演技会、陸上競技会参加への指導。</p>	<p>○ 事業の推進によって明らかになったこと</p> <p>ボランティアはしたいが、自分には何ができるかどうか不安だと思っている人が多かったが、子どもたちが喜んでる姿を見たり、進歩していく姿が見えたりして、自信と成果を実感できた人が多かった。また、感謝を表す子どもたちの「お礼の手紙」を待ち遠しく思ってくれたり、泣きながら読んでくれたりした人もいた。</p> <p>来年度以降、ボランティアのチームリーダーをどう選択し、自主的なボランティア活動をいかに定着させていくかを考えていく必要がある。</p> <p>地域人材の発掘に努めるとともに、ボランティアバンクを1年ごとに見直していくことにより、ボランティアの方々の希望や適性に依じていけるようにしていく必要がある。</p> <p>学校支援センター、PTA活動、地域のボランティアの区別や区分を明確にし、より連携を深めていきたい。</p> <p>○ ボランティア活用による児童の変容</p> <p>子どもたちは、ボランティアの支援によって向上したことが多く、笑い声・笑顔がたくさん見られた。褒めてもらって自信をもって取り組めるようになったり、挑戦する意欲がもてるようになったりした。</p> <p>○ 保護者等の反応</p> <p>世代の交流の中で、子どもたちもたくさんの方に支えられていることがわかり、学校以外で会ってあいさつをかわす中で、思いやりや子どもたちをあたたく見守ろうとする地域がだんだん作られてきている。</p>



【学校名：藤岡市立日野小学校】

[活用事例]	[効果]
<p>1 学習活動支援隊</p> <p>(1) 授業応援隊</p> <p>習字の支援、音楽の合奏練習の支援、ミシンや調理などの実習支援、校外学習時の安全支援、鼓笛隊の支援、その他教科学習での支援</p> <p>(2) スーパーサポート隊</p> <p>専門的な技能(特技)や知識特技での実技指導や講演(体育面や芸術面、医療面等での専門的な知識や技能を身に付けている人、学校のWebページ作成等)</p> <p>2 うるおい活動支援隊</p> <p>(1) 読み聞かせ隊</p> <p>国語や読書タイムの時間の支援(読み聞かせや読書の相手)</p> <p>(2) 生活応援隊</p> <p>朝のあいさつ運動への参加、休み時間の子どもたちの遊び相手、登下校時の安全指導(子どもたちの登下校の様子を見ていただく)</p> <p>3 環境整備支援隊</p> <p>(1) 施設整備隊</p> <p>学校の施設の整備(草むしり、側溝の清掃、校舎内の壁の修理、校舎内の掲示物作成等、子どもたちにはできないような場所の整備)</p> <p>※事前登録者の他に、活動ごとに支援者を募集していくこととした。</p>	<p>○ 事業の推進によって明らかになったこと</p> <p>独自の「開かれた学校」の「形」として位置づけることができた。特に、スクールサポートボランティアを自然に受け入れ、力むことなく支援を要請できる体制ができつつある。</p> <p>本校のどの教育活動にどのようなスクールサポートボランティアを導入することが効果的なのか、実践を通して明らかになりつつある。このことは、「特色ある学校づくり」にあたっての大きな財産となっている。</p> <p>スクールサポートボランティアが学習支援にあたる際、子どもの学力等を知りうる立場になるので、情報の流出やモラルの確保について、特に配慮する必要がある。</p> <p>○ ボランティア活用による児童の変容</p> <p>支援者が増えたことで、子どもへの手厚い指導が可能になってきている。</p> <p>○ 保護者等の反応</p> <p>学校に対して手伝うことを喜びとしている保護者が増えてきている。</p> <p>学校教育への理解(教職員との関係も含めて)を促進する機会となっている。</p>

【学校名：群馬町（高崎市）立堤ヶ岡小学校】	
[活用事例]	[効果]
<p>1 図書ボランティア 図書の整理・修繕・貸し出しの手伝い。</p> <p>2 園芸ボランティア 園芸委員会の児童と共に、花を植えたり育てたりする。</p> <p>3 茶道クラブ お手前の仕方を指導。</p> <p>4 読み聞かせボランティア 朝行事・5年生の総合での読み聞かせ。</p> <p>5 ベルマークボランティア ベルマーク集め・5年生の総合的な学習の時間での指導。</p> <p>6 安全ボランティア 学校内外の安全確保。</p> <p>7 ふれあいボランティア 不登校気味の児童への支援</p> <p>8 学習支援ボランティア</p> <p>(1) 4～6年生の体育の時間の「マット運動」「跳び箱運動」での実技指導。</p> <p>(2) 家庭科の「手縫い」「ミシン縫い」での縫い方の指導。</p> <p>(3) 図工でカッターや彫刻刀を使用するときの安全確保。</p> <p>(4) 生活科における校外学習の安全確保。</p> <p>(5) 社会科や総合的な学習の時間における専門性を生かした話。</p> <p>① 4年生の消防団の仕事や警察の仕事</p> <p>② 5年生の手話や点字の学習</p> <p>③ 6年生の外国の生活の紹介、琴や茶道・華道等の紹介</p> <p>(6) 4、5年生の「分度器の使い方」「コンパスの使い方」「平行や垂直をかく」等の個別指導</p> <p>(7) 3年生での習字ボランティア</p> <p>(8) 3・4年生の国語での国語辞典・漢字辞典の引き方指導</p> <p>(9) 2年生の国語での作文指導補助</p> <p>(10) 5年生の国語での討論会の指導補助</p>	<p>○ 事業の推進によって明らかになったこと</p> <p>校内研修で取り上げて3年目になるので、「学習支援ボランティア」を活用した授業はどの学年にも広がり、さらにボランティアの有効性を考えた活用ができるようになった。</p> <p>学校支援ボランティアでは、ボランティアコーディネーターの活動をもっと明確にし、しっかり機能するように整備していく必要がある。そのためには、ボランティアコーディネーターが、活動しやすいように、学校支援センターの部屋の中に、連絡調整ができるように電話やファックスを設置したり、ホームページや書類を作成できるようにパソコンを置いたりするという施設・設備を充実していく必要もある。</p> <p>○ ボランティア活用による児童の変容</p> <p>体育や家庭科、図工では、児童の技能が向上したり、安全が確保されたりする中で、いろいろな体験が安心してできるようになった。</p> <p>国語や算数でのきめ細かな支援で、わかる喜びを味わうことができるようになった。</p> <p>社会や総合で専門的な話を聞いたり、体験したりできる学習を深めることができた。</p> <p>学校評価では、「ボランティアや大人の人に参加してくれる授業が楽しい」と答えた児童は93%であった。</p> <p>○ 保護者等の反応</p> <p>学校評価でも「学校は、教育ボランティアなどを積極的に受け入れ、開かれた学校に努めている」と答えた保護者が95%に達した。</p>

【学校名：長野原町立応桑小学校】	
[活用事例]	[効果]
<p>1 農園作業 老人会員の方々が、花いんげんを栽培している農園（約15アール）の除草作業補助、及び収穫した花いんげん豆の選別</p> <p>2 環境美化（花壇の整備） 老人会員が、花壇の草花の手入れと除草作業を実施。</p> <p>3 環境美化（校内整備） 老人会員が、夏季休業中に校庭樹木の剪定と、秋に落ち葉拾いを実施</p> <p>4 読書の啓発 読み聞かせグループにより、10月～1月末にかけて、毎週月曜日の放課後に、低・中・高学年に分かれて実施。</p> <p>5 学習支援</p> <p>(1) 社会科</p> <p>① 地域の歴史等の校外学習に同行し、説明・指導。</p> <p>② 「浅間山と私たちの暮らし」についてビデオや資料を基に説明・指導。</p> <p>(2) 総合的な学習の時間</p> <p>① 5年生の米作りの体験活動の支援・指導。</p> <p>② 人権集中学習週間に、手話講演会を実施。</p> <p>(3) 書写 6年生の書き初めの指導補助。</p> <p>(4) 音楽 琵琶の演奏と、歴史的背景の指導。</p> <p>(5) 行事補助</p> <p>① 収穫祭にて、老人会員が昔の暮らしや遊びについて伝授。</p> <p>② 婦人会、食生活推進委員会の方々により、運動会や学習発表会へ招待する地域の方々の接待補助。</p>	<p>○ 事業の推進によって明らかになったこと</p> <p>学習支援や読み聞かせ活動、環境美化、農園作業などで、教員だけではできない内容を補助していただくことができた。</p> <p>PTAによる従来からの学校支援とボランティアによる支援の調整を図る場が必要となってきた。</p> <p>学校が期待する人材を学校区内で得るには地域の実情から限界があるため、町内の学校間の連携、学校の枠をこえたボランティアの活動の在り方等を工夫していく必要がある。</p> <p>今年度の取組を継続していくために、学校の地域連携担当者だけではなく、地域との連絡調整のためのコーディネーターの存在が必要である。</p> <p>定期的に読み聞かせの時間を設けたことにより、子どもたちは、本や読書への関心が高まっている。</p> <p>子どもたちと地域の方々がふれあう機会が多くなり、子どもたちに地域の一員としての自覚が意識づけられてきている。</p> <p>専門的な知識や技能をもった地域人材の活用により、子どもたちは、充実した学習活動を行うことができた。</p>

【学校名：月夜野町（みなかみ町）立桃野小学校】	
[活用事例]	[効果]
<p>1 授業応援隊</p> <p>(1) 3年生の総合的な学習の時間において、蛍のえさであるカワニナの飼育の仕方や夜のホタル鑑賞会の見所などの指導。</p> <p>(2) 3年生の国語の教材と関連させて、まとめの段階で児童の疑問、質問に答えてもらう形で戦争体験についての講話。</p> <p>(3) 4年生の総合的な学習の時間の健康領域と関連させて、大豆の種まき、畑の世話、大豆の収穫支援、豆腐づくり支援。</p> <p>(4) 5年生の総合的な学習の時間において、春と秋に大峰山の自然散策支援。</p> <p>(5) 5年生の家庭科において、作品づくりを通してミシンの操作方法の指導。</p> <p>(6) 6年生の国語において、町の俳句同好会の方々に俳句づくりの指導やみんなでつくった俳句の選句。</p> <p>(7) 将棋クラブにおいて、4～6年生に対して将棋の技能支援。</p> <p>(8) 3～6年生の書写において、書き初め支援。</p> <p>2 読み聞かせ隊</p> <p>(1) 1～6年生で、1単位時間を活用して読み聞かせ。</p> <p>(2) 朝行事の時間を活用して読み聞かせ。</p> <p>3 スーパーサポート隊</p> <p>(1) 町のホッケー大会に向けて、ホッケーの技能やルール指導。</p> <p>(2) 月夜野音頭の踊り方指導。</p> <p>(3) 5年生のスキー教室における技術指導。</p> <p>4 安全支援隊</p> <p>(1) PTA会員及び老人会による地域巡回による交通安全指導。</p> <p>5 施設整備隊</p> <p>(1) PTA会員による夏休み中における校舎内外の整備。</p> <p>6 ふれあい支援隊</p> <p>(1) 放課後の居場所づくりとして、体験活動や交流活動を企画・実施。</p>	<p>○ 事業の推進によって明らかになったこと</p> <p>「学校支援センター」の設置により、多くのボランティアの活用ができ、学校と地域等との交流が深まってきた。</p> <p>ボランティアに指導内容を明確に伝え、事前の打ち合わせの時間を確保する工夫が必要である。</p> <p>学校支援センターを機能・充実させていくには、連携推進担当者及びPTA本部役員がボランティアの核となり、推進していくことが重要である。</p> <p>○ ボランティア活用による児童の変容</p> <p>専門的な技能や知識をもった指導者による支援は、子どもたちの技能向上が早く、意欲的な取組が見られた。</p> <p>支援者との交流を通して、豊かな人間性を培うことができた。</p> <p>○ 教職員や保護者の反応</p> <p>保護者や地域の方々が、協力してくれたことにより、保護者や地域の方々の想いや願いを肌で感じる事ができ、学校教育と社会教育の融合の必要性を実感した。</p>

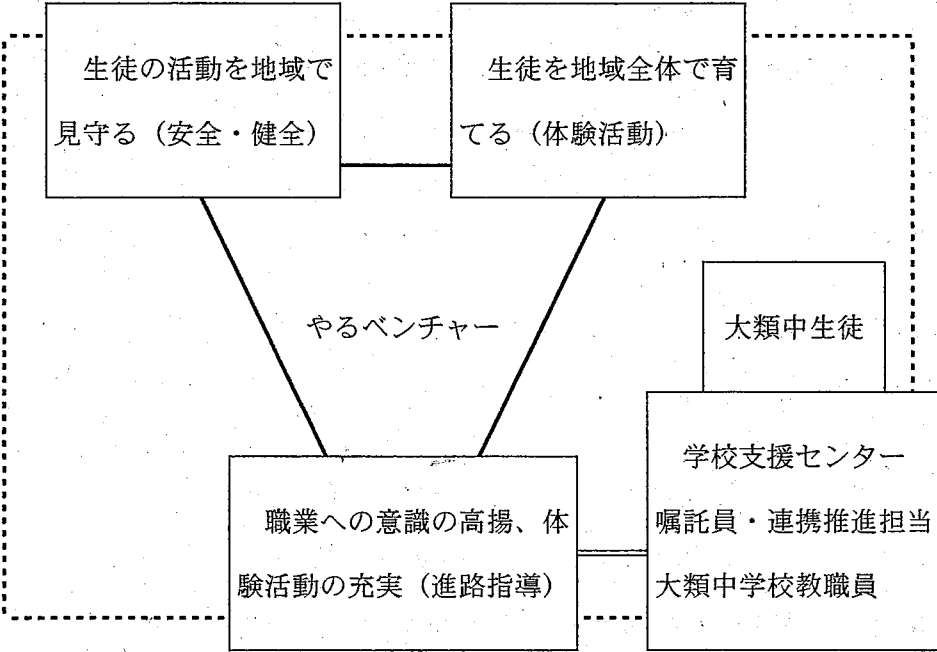
【学校名：桐生市立昭和小学校】	
[活用事例]	[効果]
<p>1 防犯パトロール部 児童の登下校時や都合のよい時間のパトロール。車にステッカーを付けてのパトロール。</p> <p>2 校外学習支援部 4年生の校外学習と5年生の総合的な学習の時間の引率支援。</p> <p>3 読書支援部 毎週金曜日の「朝の読書」の時間に1・2年生を対象とした読み聞かせ。</p> <p>4 英会話支援部 総合的な学習の時間の英会話の補助。</p> <p>5 クラブ活動支援部 クラブ活動時の事故防止等の支援。</p> <p>6 緑の少年団支援部 草花の栽培指導の支援。</p> <p>7 その他の学習支援部 (1) 3年生の書写における道具の片付け方や筆使いの指導。 (2) 5年生の家庭科におけるミシンの使い方や安全についての指導。</p>	<p>○ 事業の推進によって明らかになったこと スクールサポートボランティアとの連携により、指導の充実が図れた。 事故を未然に防ぐ雰囲気が高まり、学校内や登下校などの学校安全体制の整備が充実してきた。また、地域からの情報が学校に届きやすくなり、素早い対応ができるようになった。 地域のコミュニティーセンターとしての機能を高めるために、地域住民や地域諸団体（例えば老人会など）へ情報発信をしていきたい。 次年度の支援活動へ向けて、本年度の実践活動をもとに年間指導計画を作成するなど、学校とボランティア間の連絡・連携を密に図っていきたい。</p> <p>○ ボランティア活用による児童の変容 教師の指導の充実が図れるとともに、児童の学習準備への支援が十分にできた。そのため、児童の学習に取り組もうとする意欲が高まった。 児童が地域の人たちと触れ合う機会が多くなったことで、自分たちの暮らす地域に親しみをもつようになった。</p>

【学校名：太田市立旭小学校】	
[活用事例]	[効果]
<p>1 通学路安全パトロール 全授業日に支援隊（午後2時半～3時半）とPTA（午後3時半～4時半）で学校敷地内と通学路のパトロール。</p> <p>2 野菜栽培 学校近くの畑を借用し、栽培している野菜の説明や育て方等の指導。</p> <p>3 図書ボランティア 図書館での本の貸し出し・返却、蔵書の整理等。</p> <p>4 あさひ子ども囲碁・将棋クラブ 毎月第2・4土曜日の9時から11時頃まで地域の住民センターを借用し、囲碁・将棋の指導や支援。</p> <p>5 学習活動支援</p> <p>(1) 1年生体育「水遊び」 プールで顔が水につけられない子どもたちへの指導や支援。</p> <p>(2) 1年生生活科「むかしあそびをしよう」 昔の遊び（こま・お手玉・おはじき等）の遊び方の指導と一緒に遊ぶ。</p> <p>(3) 2年生生活科「やさいをそだてよう」 さつまいもの苗の植え方の指導や支援。</p> <p>(4) 3年生総合的な学習の時間「しめ縄づくり」 しめ縄づくりの指導や支援。</p> <p>(5) 3年生図工「切って切ってトントントン」 材料の木ぎれの提供と金づち・のこぎりの使い方の指導や支援。</p> <p>(6) 4年生社会科「水はどこから」 川をきれいにするための活動についての説明。</p> <p>(7) 5年生家庭科「ミシンを使ってみよう」 ミシンの使い方の指導や支援。</p> <p>(8) 6年生社会科「戦争は人々の暮らしをどう変えたの」 戦争体験の講話。</p> <p>6 地域・諸団体連携</p> <p>(1) PTA・地域子供会・育成会等との連携を深め、より一層子どもたちの健全な成長を手助けするために、今年度より設置された部で、主任児童委員、民生児童委員の方々が中心に活動する。</p> <p>(2) 第1回の会議が行われ、子どもたちが健全に育成するためにはどのような活動内容や取組ができるか話し合われた。</p> <p>7 その他</p> <p>(1) 学校環境整備 校庭除草作業。</p> <p>(2) みんなで楽しく遊ぼう会 囲碁将棋と昔遊びを支援隊が担当した。</p> <p>(3) 部活動支援で金管バンド部の指導や支援。</p>	<p>○ 事業の推進によって明らかになったこと 通学安全パトロールは児童の下校時の安全確保につながり、不審者に対する抑止力になっている。また、子どもたちは横断歩道を渡っているかなどの交通安全に対するチェック、子どもたちへの声掛け、パトロール日誌の改善など充実した活動が続けられている。 これからも随時支援者の募集を行ったり、さらに地域や諸団体との連携を図ったりする必要がある。</p> <p>○ ボランティア活用による児童の変容 地域の方が授業に入ると、子どもたちが真剣な表情で話を聞いており、興味・関心をもち、学習意欲が高まった。 ミシンの学習では、分からないときや困ったときにすぐ見てもらえることができ、ミシンの使い方がよく分かった。 支援者からの声掛けや励ましが子どもの自信につながりプールで顔を水につけられなかった児童が泳げるようになった。 土曜日に行われている野菜栽培では、「土」に触れ、育てる楽しさを味わい、子どもたちにとって、貴重な体験ができています。同じく土曜日に行われている囲碁将棋クラブでも個々にあった丁寧な指導がなされ、子どもたちの意欲も高まっている。 図書ボランティアのおかげで蔵書の分類や整理がゆきとどき、子どもたちの読書量が増えている。</p> <p>○ 教職員や保護者の反応 教師一人で説明し、実習することは大変だが、支援者に入ってもらうことにより、学習をスムーズに進めることができた。 さつまいもの苗の植え方や育て方など、支援者から適切なアドバイスをいただくことができ、ありがたかった。 川をきれいにするためにボランティア活動をしている地域の方のお話は、子どもたちに川を守ろうとする思いや努力に気づかせ、自分にできることを考えさせるのに有効であった。 親子で体験したしめ縄づくり、わらをなうという得難い経験ができてよかった。</p>

【学校名：館林市立第八小学校】	
[活用事例]	[効果]
<p>1 多々良沼学習支援隊</p> <p>(1) 2年生：生活科「ハクチョウとともだちになろう」 事前指導において、日本野鳥の会館林分会長による講話。</p> <p>(2) 5年生：総合的な学習の時間「描こうみんなの多々良沼」 「多々良沼を愛する会」「多々良沼魚漁協同組合」「野鳥の会」「生活学校の会」等によるグループ指導。</p> <p>2 家庭学級支援隊 主に土・日曜日、祝日、長期休業日に親子でポスターの制作、田植え、デイキャンプ、絞り染め、餅つき等の実施。</p> <p>3 親子クラブ支援隊 父親同士の交流や父子のふれあいを目的に、主に土・日曜日、祝日、長期休業日に、デイキャンプ、田植え、校内環境整備等の支援。</p> <p>4 読み書き計算支援隊 毎週金曜日の放課後に3・4・5年生の「読み・書き・計算」の補充指導支援。</p> <p>5 読み聞かせ心の栄養隊 毎月第3水曜日の朝8時25分から20分間、全学年を対象に本の読み聞かせを実施。</p> <p>6 八木節支援隊 毎月第1・3月曜日に八小八木節の指導。</p> <p>7 安全パトロール隊 地域のお年寄りを中心に、下校時間帯に学区内のパトロールや下校の付き添い、通学路での声かけ等の安全確保支援。</p> <p>8 校外学習支援隊 1年生：生活科「夏と遊ぼう」で公園への付き添いや遊び支援。 3年生：社会科見学での付き添い支援。</p> <p>9 ミシン支援隊 5年生：家庭科「ランチョンマットの制作」でのミシン指導。</p> <p>10 クラブ活動支援隊 「囲碁・将棋」「卓球」クラブの指導・支援。</p>	<p>○ 事業の推進によって明らかになったこと 交流の機会が増え、本来の地域の学校としての存在感が深まった。 ボランティアの活用には、教職員の考えやニーズに個人差があるため、十分な話し合いと共通理解が必要である。また、教職員とボランティアとの事前打ち合わせの時間確保が難しい。 教育効果を高めるための協力体制をどう図るか、更に綿密な計画を作成する必要がある。</p> <p>○ ボランティア活用による児童の変容 個人の指導や専門的な知識・技術にふれることができ、成就感を味わわせることができた。 様々なものの見方や考え方にふれるとともに、直接体験から得られる豊かな感性が育ってきている。</p> <p>○ 教職員や保護者の反応 専門的な知識・技術をもった方の指導により、児童が興味・関心をもって意欲的に取り組むことができた。また、きめ細かな指導の充実を図ることができた。 学校の教育活動に対する保護者や地域住民の関心が高まり、協力が得られやすくなった。 地域として、安全で安心して生活できる場の確保とともに、子どもを育てる意識が高まってきた。</p>

【学校名：伊香保町（渋川市）立伊香保中学校】	
[活用事例]	[効果]
<p>1 環境整備</p> <p>(1) 定期的に行う花壇の手入れ・校庭の除草等の指導や作業支援。</p> <p>2 学習支援</p> <p>(1) 2年生の職業体験の前後の職業講話。</p> <p>(2) 3年生の総合的な学習の時間(国際理解)で行ったタイ料理の指導。</p> <p>(3) 2年生の総合的な学習の時間(福祉・健康)で社会福祉協議会と連携して行った一人暮らしのお年寄りにお弁当をつくり届ける活動の支援。</p> <p>(4) スケート及びスキー教室での指導。</p> <p>3 安全支援</p> <p>(1) 下校時の防犯パトロール</p>	<p>○ 事業の推進によって明らかになったこと</p> <p>「教師からの要望・依頼→依頼状作成・発送→打合せ→活動→礼状作成・発送」のようにボランティアの活用について、一連の流れを確立することができた。</p> <p>呼び掛けの通知や依頼状・礼状等をファイルやパソコンに保存し、教職員の誰もがすぐに活用できるよう整理した。</p> <p>社会福祉協議会や役場との連携が今まで以上にとれ、学校と地域が一体となった教育活動に取り組めた。</p> <p>ボランティアリーダーの育成が難しかったので、今後も学校の様子を伝え、依頼をしていく。</p> <p>今年度は昨年度から引き続けている活動を中心に行ってきたが、新たな分野についても考えていきたい。ボランティアの人材発掘地域も町の合併に伴い広範囲に広がるため、多岐にわたる活動が予想される。</p> <p>来年度は囑託員が整備したボランティア活用の一連の流れを効果的に活用して、さらに地域に根ざした教育活動を推進できるよう努めていく。</p>



【学校名：高崎市立大類中学校】	
[活用事例]	[効果]
<p>1 職場体験学習を一層有意義な活動にするための地域社会による支援体制の充実</p>  <p>2 生徒と家庭の希望のみで、ほとんど受け入れ先を選定してきたことを改め、次のような項目の事業所の発掘に心がけた。</p> <p>(1) 福祉施設（人と人との交流の大切さを実感させたい。）</p> <p>(2) 物づくり関連の事業所（人々の努力や工夫によって生活に役立つものが作られていることを実感させたい。）</p>	<p>○ 事業の推進で明らかになったこと</p> <p>職員研修を通して、地域との連携の重要性の認識が高まった。</p> <p>便りの発行により、地域の方々から中学校が身近になったとの声をいただいた。</p> <p>1学年から2学年にかけての効率的・意図的な指導が確立しつつある。</p>

【参考資料】

平成16年度「地域の教育力の有効活用推進事業モデル校」一覧

1 小学校

- 前橋市立大利根小学校 <http://www.ootone-es.menet.ed.jp/>
- 高崎市立中央小学校 [http://ted.city.takasaki.gunma.jp/chuou\\_sho/](http://ted.city.takasaki.gunma.jp/chuou_sho/)
- 中之条町立伊参小学校 <http://www12.wind.ne.jp/naka4e/>
- 川場村立川場小学校 <http://www.kawaba-e.ed.jp/>
- 太田市立沢野中央小学校 <http://www.ota-gnm.ed.jp/sawachu-e/>

2 中学校

- 吉岡市立吉岡中学校 <http://www.yoshioka-jhs.jp/>
- 富岡市立富岡中学校 <http://academic1.plala.or.jp/tomic-jh/>
- 桐生市立昭和中学校 <http://www.kiryu-showa-j.ed.jp/>

平成17年度「地域の教育力の有効活用推進事業モデル校」

1 小学校

- 前橋市立下川淵小学校 <http://www.shimokawa-es.menet.ed.jp/>
- 前橋市立大胡東小学校 <http://www.oogohigashi-es.menet.ed.jp/>
- 伊香保町（渋川市）立伊香保小学校  
<http://www12.wind.ne.jp/lkaho-E-School/index.htm>
- 高崎市立大類小学校 [http://ted.city.takasaki.gunma.jp/orui\\_sho/](http://ted.city.takasaki.gunma.jp/orui_sho/)
- 藤岡市立日野小学校 <http://www.gsn.ed.jp/gakko/syo/hino-es1/>
- 群馬町（高崎市）立堤ヶ岡小学校  
<http://www.h4.dion.ne.jp/~g-tutumi/top/>
- 長野原町立応桑小学校 <http://www9.wind.ne.jp/oukuwa/>
- 月夜野町（みなかみ町）立桃野小学校  
<http://www.edu.town.minakami.gunma.jp/~momono-es/>
- 桐生市立昭和小学校 <http://www.kiryu-showa-e.ed.jp/>
- 太田市立旭小学校 <http://www.ota-gnm.ed.jp/asahi-e/>
- 館林市立第八小学校 <http://www.city.tatebayashi.gunma.jp/school/sho.daihachi/>

2 中学校

- 伊香保町（渋川市）立伊香保中学校  
<http://www.gsn.ed.jp/gakko/tyu/ikahojhs/>
- 高崎市立大類中学校 [http://ted.city.takasaki.gunma.jp/orui\\_chu/](http://ted.city.takasaki.gunma.jp/orui_chu/)

平成 1 7 年 度  
モデル校の取組  
( 資 料 編 )

# 大胡東小学校 ボランティアセンターだより

No.1

平成17年5月10日

## 学校支援ボランティアに参加しませんか？

今年度より大胡東小学校に学校支援ボランティアセンターを設置いたしました。

学校・家庭・地域の方々と力をあわせて子どもたちに関わっていただくことは、子どもたちの健全な発達を促し、より良い地域社会を作っていくことにつながっていくことと思います。

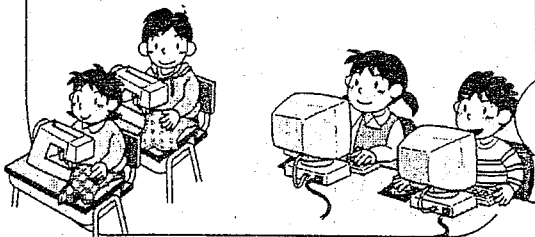
ぜひ、みなさんに授業・放課後のわくわく遊び場や寺子屋に参加してたくさん子どもたちとのふれあっていただき、一緒に子どもたちの成長を見守ってゆきたいと思ひます。

### 学校支援ボランティアって どんな活動するの？

保護者や地域の方々の持っている知識や技能・経験・時間など地域の教育力を生かして、学校の教育活動を支援していくものです。

授業（算数、国語、家庭科の料理・ミシン、など）の補助や、地域のお話、昔遊び、草花の栽培などのお手伝いなどを予定しています。

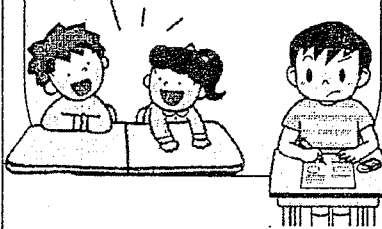
おじいちゃんおばあちゃん、ご近所のかたで推薦したいと思う方がいらっしゃいましたらぜひ、ご紹介ください。



### 寺子屋って 何だろう？

小学校の一部屋を使って保護者や地域の方々に放課後、子どもたちに学習指導（1、2年生を主な対象として）をする事業です。

火・木・金曜日の3時～4時を予定しています。



### わくわく遊び場って どんなことするの？

昨年度より始まった子ども居場所づくり事業です。

月曜日の放課後学校の一部を使って、指導員の方が昔遊びや歌・紙芝居などの交流活動をしてきています。



ボランティアセンター担当の〇〇です。  
みなさんの時間・経験・知識を子どもたちのためにぜひお貸しください。  
お気軽にお問い合わせください。



問い合わせ先 大胡東小学校ボランティア部 027(280)2332



# お願いです

地域の方々がボランティアティーチャーとして  
日野小の教育活動にお力を!!!  
日野小スクールサポートボランティアになってください。

次のような支援者を募集しています。どうぞ、お気軽にご協力ください。

## 授業応援隊

習字の支援 音楽の合奏練習の支援 ミシンや調理などの実習支援  
校外学習時の安全支援 鼓笛隊の支援 その他教科学習での支援

## 読み聞かせ隊

国語や読書タイムの時間に子どもたちに本を読んであげてを行います。

## 施設整備隊

学校施設の整備を行います。(草むしり、側溝の清掃、校舎内の壁の修理、  
校舎内の掲示物作成等、子どもたちにはできないような場所の整備)

## 生活支援隊

朝のあいさつ運動への参加、休憩時間の子どもたちの遊び相手、登下校時の  
安全指導(子どもたちの登下校の様子を見ていただくだけでも十分です)

## スーパーサポート隊

専門的な技術(特技)や知識特技をお持ちの方で子どもたちに講演や実技指導を  
していただける方(体育面や芸術面、医療面等で専門的な知識や技能をお持ちの  
方、学校のWebページ作成支援等)

※このことについてのご連絡は 日野小 教頭までお願いいたします。  
日野小TEL 0274-22-0824 よろしくお願ひいたします。



平成17年5月24日

あさひ小学校支援隊各位

あさひ支援隊会長  
太田市立旭小学校長

平素より皆様には、支援隊の活動にご理解とご協力を頂いておりますことを心より御礼申し上げます。

さて過日ご連絡致しましたが、平成17年度の支援隊活動の新たな柱として「学習支援」が加わりました。幅広いまた生きる力を培う為の子どもたちの学習に、皆様の豊かなご経験をもってお力添えを頂きたく下記の様なアンケートをお願いする運びとなりました。

ご多用中とは存じますが、ご協力頂ける方は下記をご記入の上、5月31日(火)までに学校までお戻し願えれば幸いです。

また、本年度は太田市より、学校と地域を結ぶ「コーディネーター」として〇〇 〇〇さんが旭小学校に配置されることになりました。調整等は〇〇さんをお願いし、中身のある学習支援を目指して参りたいと存じますのでよろしくお願いいたします。

切り取り線

### 「学習支援」の為のアンケート

ご協力頂ける部門の数字に○をお願いします。(何個でも)

また、お得意な事がございましたら、その他にご記入下さい。

- |           |                        |    |
|-----------|------------------------|----|
| 1. 昔の遊び   | (ベーゴマ・竹馬・お手玉・おはじき等)    | 1年 |
| 2. 水遊び    | (プールでの水慣れ、水泳指導)        | 1年 |
| 3. 農園     | (さつまいもの植え付け、収穫指導)      | 2年 |
| 4. 町探検    | (児童が町探検をする際の地域の説明等)    | 2年 |
| 5. しめ縄作り  | (児童がバケツ稲を作った後のしめ縄作り)   | 3年 |
| 6. 木工     | (道具の使い方等)              | 3年 |
| 7. カルタ    | (市民憲章カルタ 地域の史跡、歴史について) | 4年 |
| 8. 環境教育   | (ゴミ・水質問題等)             | 4年 |
| 9. 町作り    | (子供たちの安全確保の為の引率)       | 5年 |
| 10. 家庭科   | (ミシン・玉どめ・玉結び)          | 5年 |
| 11. 工業    | (太田市の工業)               | 5年 |
| 12. 戦争体験  | (戦中・戦後の話)              | 6年 |
| 13. 外国の国々 | (外国籍の方・海外生活の体験等)       | 6年 |
| 14. その他   | ( )                    | )  |

地区名

ご芳名

電話番号



1. 平成17年度 スクールサポートボランティア年間活用一覧  
藤岡市立日野小学校  
I. 学習活動支援実績  
授業スタイル

- A. スクールサポートボランティアによる補助支援【授業応援隊】  
B. スクールサポートボランティアによる主導支援【スーパーサポート隊】  
C. 校外学習時の外部講師による主導・補助支援  
D. 非常勤講師が主になって支援

学年	月	教科	単元(題材)名	支援内容	スタイル
1	5	算数	いくつといくつ	習熟度別活動・操作活動の補助	A
		生活	ぼかぼかのはらへとびだそう	よもぎだんご作りの実習補助	A
	6	学活	すきらいをなくそう	健康・給食指導	B
		生活	すいずいざわがきもちがぬいね	栗拾い	C・A
	10	算数	たしざん(2)	焼きいもの準備(木っ端等):2年参	A
		国語	本と親しくなるう	班別学習活動及び補充学習の補助	A
		生活	さつまいもよりうりをしよう	リクエスト本の読み聞かせ	A
		生活	びゅうびゅうかぜとあそぼうよ	サツマイモ料理の実習補助	A
	3	生活	ふれあい動物教室	昔からの遊び紹介・指導	A・B
		図工		小動物の世話・命の大切さの指導	B
2	6	学活	すきらいをなくそう	健康・給食指導	B
	10	生活	やさいをしゅうかくしよう	焼き芋の準備	A
	11	生活	フェスティバルのじゅんびをしよう	フェスティバルに出す料理の補助	A
	1	生活	小さい頃の自分をさがしてみよう	生まれた頃の話など	A
	2	生活	あしたへジャンプ	命の大切さ指導	B
	3	生活	ふれあい動物教室	小動物の世話・命の大切さの指導	B
3	7	総合	大豆を育てよう	大豆を調べる	B
	9	総合	お年寄りに聞いてみよう	昔の遊び	B
	10	社会	スーパーマーケットで働く人	スーパーへの見学と説明	C
	11	社会	工場の仕事	工場への見学と説明	C
		総合	豆腐作り	実際に豆腐を作る補助	A・B
	3	総合	豆腐料理作り	豆腐を用いた料理の補助	A・B
		社会	火事がおきたら	消防署見学と説明	C
	通年	社会	身のまわりの安全	警察署見学と説明	C
		書写	毛筆	書写用具の使用法指導・補助	A・B
	4	5	算数	円と球	コンパスの使い方の指導
国語		漢字辞典の使い方	漢字辞典の使い方の指導	A	
		資料の整理	教師の指導の補助	A	
社会		くらしを支える水	中央浄水場の見学と説明	C	
6	国語	すみよいくらしとごみ	清掃センターの見学と説明	A	
			書き順などの補助		

学年	月	教科	単元(題材)名	支援内容	スタイル
4	10	図工	校内絵を描く会	写生の描き方の指導	B
	11	総合	共に生きよう	盲学校との交流	C
	12	社会	わたしたちの群馬県	上毛カルタをしよう	A
5	通年	書写	毛筆		A・B
	5・12	総合	年をとるってどういこと?	インスタントシニア体験の補助	D
6	10	総合	チャレンジ! 職業!	縮子の指導	D
	11	家庭	ぬって!使って!楽しい生活!	ミンシンの縫いの補助	A
ゆうあい生活単元	通年	書写	毛筆		A・B
	5・6	総合	花の学び舎をつくろう	お掃除の仕方の指導	A・B
	8・9	音楽	鼓笛練習	北高校の先生と生徒によるサルビアの種まき、鉢上げの指導	B
		図工	ハロウィンのかぼちゃ	各楽器ごとの指導・補助	A・B
	10	図工	校内絵を描く会	ハロウィンのかぼちゃちやちよちん作りの指導	B
		総合	老人福祉施設訪問	中学校の先生による絵画指導	B
	11	家庭	生活を楽しくするものを作ろう	老人福祉施設でのボランティア活動の指導・補助	C
		音楽	邦楽に親しもう	ミンシンの先生による支援、補助	A
	12	学活	中学校の先生の話を聞こう	専門の先生による筆の指導	B
		総合	そばを打とう	中学校の学習や生活についての講話	B
2	1	総合	紙すき体験	そばの打ち方の指導	B
	2	総合	保青園の先生にチャレンジしよう	日野に伝わる伝統和紙づくりの体験活動	B
	3	総合	コサージュ製作	指導、補助	C
全	5	行事	交通安全教室	児童福祉社についての指導	C
	7・8	行事	夏休み補充学習・鼓笛・水泳演劇教室	交通安全指導(歩行・自転車)の指導	A・B
	9	行事	運動会	生の演劇	B
		行事	秋の旅行(低学年ブロック)	指導補助・安全協力等	B
	10	行事	日野小秋祭り	各係の補助など	B
		健康	生きているってすてき	病人・けが人・迷子への対応	A・B
	11	行事	消防訓練	オーブニングセレモニーへの演奏参加	B
		行事	邦楽を楽しむ会	三井久味子先生による特別授業	B
	12	業前	校内マラソン大会	火災予防と消火器の使い方等指導	A・B
		体育	スケート教室	筆・尺を中心に和楽器の演奏鑑賞	B
2	行事	『いっぱい』の話(進路教育)	人権擁護委員会による人権の説明	A	
	行事	「夢に向かって」学校保健委員会	安全協力・応援等	B	
			身支度等の補助・スケート指導	A・C	
				西中学校長先生による講話	B
				先輩から学ぶ	B

スクールサポートボランティア活用実践記録

藤岡市立日野小学校

1年	教科 算数科	時期 5月19日～27日
単元・領域名	いくつといくつ	授業スタイル A：補助
内容・目的	○10までの数の分解・合成を通して、数構成を理解させる。 ・おはじきや数カードの操作活動を通して理解を深めさせる際、少人数に分けて活動させるための支援をしていただく。また、習熟度により分かれて学習を進める時に、担当グループの支援に当たってもらう。	
人材氏名		
活動実践	①担当したグループを中心にした○付けをしながら理解度確認と補強を行う。	備考：日程・準備など 5月6日 支援依頼
	②習熟度に応じ、早くプリントが終わった児童に数構成表遊びをさせる。	5月18日 大まかな打合せ (tel) 児童にも予告
	③数カードゲームの答えの判定(担当児童)。遊びがうまく成立するように助言し、数学的な気づき(片方が1増えると片方が1減る等)を促してもらう。	5月19日 20分休み打合せ 準備：名札 座席表 既習時に使用したプリント 本日の略案 使用するプリント 赤ソフトペン (数カード、数構成表 おはじき)
成果	①指導する側の人数が多いことにより、個に応じた指導支援が行え、時間を有効に使った学習が成立した。そのため、質的にも量的にも高い学習が行えた。	
課題	②課題 児童の実態把握にやや手間取る面がある。授業に入る前の段階で、顔合わせがあるとよかった。	

# 伊香保小 スクールサポートボランティア通信

H17年12月発行

はやし

No. 4

## 2年生 収穫祭のお囃子練習 及び 収穫祭



毎年2年生は、生活科で育てた野菜の収穫を祝う収穫祭を行います。収穫祭では、自分たちで作った露店を開いたり、おみこしを担いだり、太鼓を叩いたりと楽しくお祭りをします。

今年度も伊香保祭囃子保存会の〇〇〇〇さんをはじめ、4名の方にお囃子の指導をしていただきました。今年度の練習は、外野コミュニティセンターで3回行われました。太鼓の叩き方や構え方、交代の仕方、鐘の指導などを手ほどきしてもらいました。また、太鼓やおみこしが何でできているかなども教えてもらいました。

収穫祭当日は、5名の方がボランティアとして来校してください、お囃子の補助や子どもたちが出店を行っている間のお囃子をして下さいました。お囃子の指導もあり、子どもたちは上手にお囃子を発表することができました。



## 4年生 町めぐり

4年生は、社会で伊香保町の歴史について学習をしています。伊香保町についての学習を深めるため、専門家である伊香保町観光ガイド（遊友）の会の〇〇〇〇さんに講師をお願いしたところ、



、快く引き受けてくださいました。『遊友の会』とは、伊香保町に観光で訪れている方に伊香保町の歴史や名所などを教えている会です。その『遊友の会』の〇〇さんと〇〇さんがボランティアとして町めぐりに同行し、子どもたちにいろいろと教えていただきました。湯元や小間口、ハワイ公使別邸など分かりやすく教えて下さいました。子どもたちは〇〇さん達の話真剣に聞いていました。学習が一層深まったように思います。

11月に安全支援ボランティアを立ち上げました。さっそく、活動をして下さっている方も見受けられ、大変ありがたく思っております。（ちょうど、学校周辺を見回っている方に撮影をお願いして、撮らせていただきました。）広島や栃木での事件もあり、ますます登下校の安全確保が必要になってくるのではないかと思います。



# 平成17年度 あさひ小学校支援隊活動内容

支援隊活動の一部をご紹介します。

## ☆通学路安全パトロール



子どもたちの安全を守るため、全授業日、下校時間にあわせて、学校区のパトロールをしています。



徒歩で学校敷地内をパトロールします。

## ☆囲碁将棋クラブ



支援隊員から囲碁の指導を受けているところです。

## ☆あさひ農園

さつまいもの苗植えをした時の農園の様子です。農園ではたくさんの野菜を栽培しています。これは、とりたてのゴーヤです。



## ☆図書ボランティア

図書委員の子どもたちと本の貸し出しと返却の受付をしています。



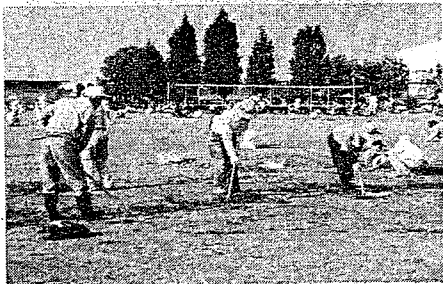
## ☆学習活動支援

5年生のミシンの使い方、3年生のしめ縄作り、1年生のむかしのあそびをしようの授業で、学習協力者のみなさんに指導支援をしていただきました。お世話になりました。



## ☆校庭除草作業

学校・PTA・支援隊の合同で行い、たくさんの人の協力で校庭がとてもきれいになりました。





# 学校支援センターだより

No. 8

平成18年1月27日

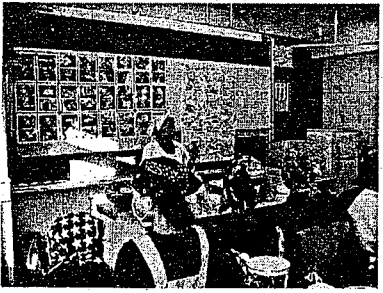


明けましておめでとうございます。昨年は学校支援センターの活動にたくさんの地域の方にご協力していただき、ありがとうございました。おかげさまで桃野の子どもたちは、今まで以上に充実した学校生活をおくることができました。本年もよろしくお願いいたします。



## <12月14日>4年総合(豆腐作り)

## 前回お知らせした豆腐作りが、昨年12月14日に行われました。その時の児童の感想です。



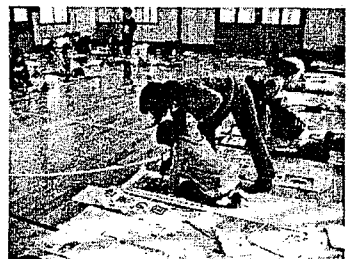
大豆の種まきからとうふ作りまでいろいろな事を教えてくださってありがとうございました。ぼくは、「こんなに苦労したんだから絶対おいしいとうふをつくるぞ。」と思いました。今度母といっしょにとうふ作りにちょうせんしようと思います。(男児K)

支援ボランティアとして、〇〇さん・〇〇さん・〇〇さん・〇〇さん・〇〇さんにお世話になりました。おいしい豆腐ができました。子どもたちも大喜びでした。ありがとうございました。

今回は、書写(書き初め練習)に、地元で習字教室を開いている〇〇さんと〇〇さんの二人に支援ボランティアとして来て頂きました。さめ細かい指導のおかげで、本番の書き初め大会では、時間内に全員上手に仕上げることができました。



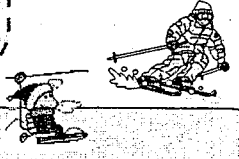
## <書写(書き初め練習)> 12月13・14・15日 3~6年(〇〇さん・〇〇さん)



5年生の保護者の方にスキー指導の支援ボランティアを募集したところ、たくさんの方に来て頂きました。〇〇さん・〇〇さん・〇〇さん・〇〇さん・〇〇さん・〇〇さん・PTA本部役員(6名)の皆さん、寒い中ありがとうございました。

## <1月25日>5年スキー教室(宝台樹スキー場)

\*子どもの感想です。  
25日は、忙しいところに来てくださりましてありがとうございました。スキー靴もはけなかったのに、午後には、リフトに乗ってすべるまで、できるようになりました。これもTさんのおかげです。これからもTさんに言われたことを守ってがんばります。(女児S)



桃野小学校は、1月28日から2月3日まで冬休み(後期)になります。今年は、大雪に見舞われ危険な通学路も数箇所あります。桃野の子どもたちが事故等にあわないように、地域の皆様のご協力をお願いいたします。お気づきの点がありましたら<桃野小学校 0278-62-2416>までご連絡ください。



作成

平成18年3月

群馬県教育委員会

学校人事課

〒371-8570

前橋市大手町 1-1-1

TEL 027-226-4594

FAX 027-243-7759